

第71回

日本PTA全国研究大会広島大会

期日…令和5年8月25日(金)～26日(土)
場所…広島県広島市・東広島市・福山市・呉市・府中町

大会スローガン「変化の時

代に向け、PTA自身が学びの
変革を！見つけ 考え か
わろうや ぶち楽しいで!!
広島から全国へ」のもと、広
島県内5市町村で開催された
日本PTA全国研究大会につ
いて、前号に続き、大会の様
子を報告します。

第2回は、第1分科会に参加
した、遠野・遠野中PTAの
多田宜史さん(遠野市P連会
長)です。



家庭教育に必要なこと

遠野中学校PTA会長

多田 宜史

今回、最も印象に残ってい
ることがあります。私は第1
分科会「家庭教育」を聞きに
行ったはずでした。しかし、そ
こで私が聞いたのは「地域連
携」でした。つまり、「家庭教
育に必要なことは地域連携」
なのであります。そう言われ
てもピンとこないと思います
ので、具体的に記述します。

大阪府大東市教育委員会で
は、大綱に「すべては家庭教
育にある」と明記し、予算を
付けて徹底的な家庭支援を
行っています。活動は多岐に
わたりますが、今回は3つの
取り組みを紹介いただきます
。まず一つ目は、手挙げ制
の地域ボランティアを募集
し、小学校1年生の家庭を、
要望のあるなしに関わらず全
て訪問する活動です。問題が
起こってから教育委員会に相

談するのではなく、起こる前
に繋がっておくことが大事と
の考えに基づいているとのこ
とでした。二つ目は「育カ
フェ」。これは小学校の空き
教室に保護者を集まってもら
い、自由におしゃべりしても
らう活動ですが、ユニークな
のは地元の民間企業がこれを
運営しているということであ
す。行政が運営するかどうか
でもお堅い活動になりがちで
すが、民間に委託することに
より面白い活動が生まれま
す。市内12の小学校全てに設



置していて、115社が係
わっています。すべて無償
です。企業にとっても人材発
掘につながりますし、長い目
で見れば子供が大人になった
時に就職先として選んでくれ
るかもしれないため、ウィン
ウィンの関係を築くことが出
来ているそうです。三つめは、
講演会を市P連と共催するこ
とによって、保護者の参加率
を上げていました。学びの場
を提供することによって、子
育てに対する意識を高めるこ
とが出来ていました。

以上、今回広島で学んだこ
とのごく一部ですが紹介させ
ていただきました。これ以外
にも数多くの発表者から多数
の事例を拝聴しましたが、そ

のどれもが「保護者を支援す
ることで子供の学習環境を整
える」という内容の事を話し
ていました。冒頭の話に戻り
ますが、今や家庭教育すら地
域が支援する時代なのだと思
いました。「保護者の幸せが
子供の幸せにつながる」とい
う視点は、ますます重要にな
って来ようでしょう。私が会
長を務める遠野市PTA連合
会でも今年、子供を直接的に
支援するのではなく、保護者
の啓蒙を通じて子育て支援を
重視することを目指すことを確
認したばかりでしたし、教育委
員会との連携を更に深めてい
きたいと思っている中で、大
東市の取り組みは非常に参考
になる事例でした。

